

いばらきネットモニター たばこ対策に関する調査結果

1 調査目的

本県のたばこ対策に係る取組の基礎資料とするため、県民の意識調査を実施した。

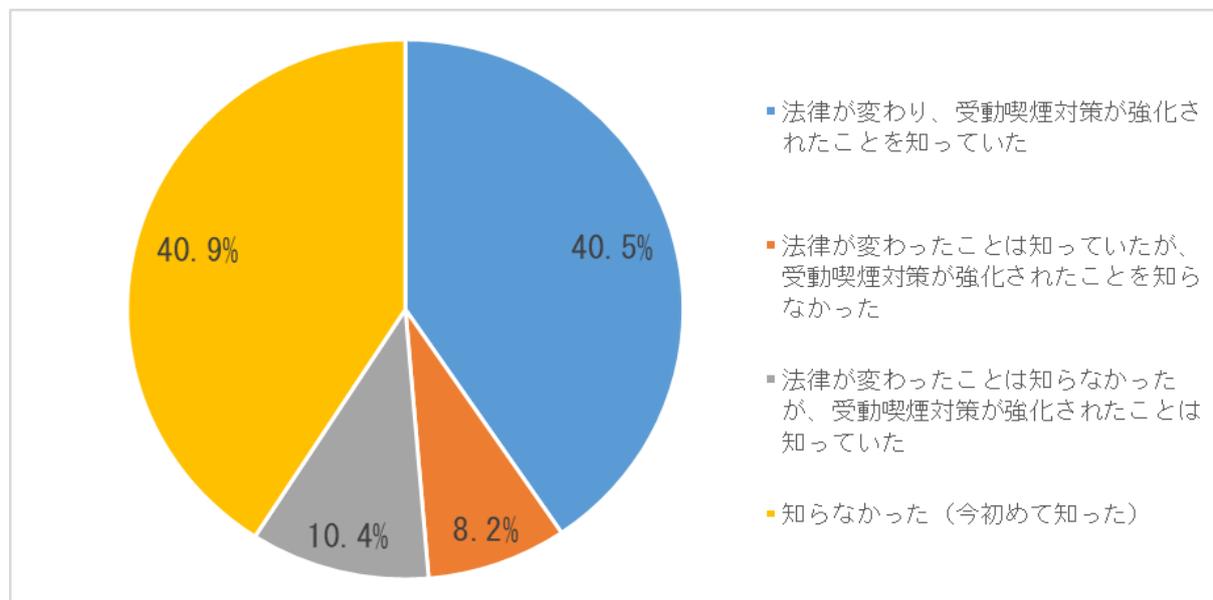
2 結果の概要

- ・本調査の回答者の喫煙状況は「吸っている」7.0%、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」12.4%、「吸わない」80.6%であった。
- ・受動喫煙を防止する法律が変わり、望まない受動喫煙が生じないよう対策が強化されたことを「知らなかった」と回答した方の割合は40.9%であった。
- ・飲食店を選ぶときに、受動喫煙防止対策がとられているかをどのくらい意識しているかについては、「とても意識している」と回答した方の割合は36.8%と最も多く、「やや意識している」と回答した方と合わせると65.1%であった。

【問1】（受動喫煙対策が強化されたことの認知度）

2020年4月、受動喫煙を防ぐための法律が変わり、望まない受動喫煙（他人のたばこの煙にさらされること）が生じることがないように、対策が強化されました。あなたはこの法律が変わり、受動喫煙対策が強化されたことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=748)



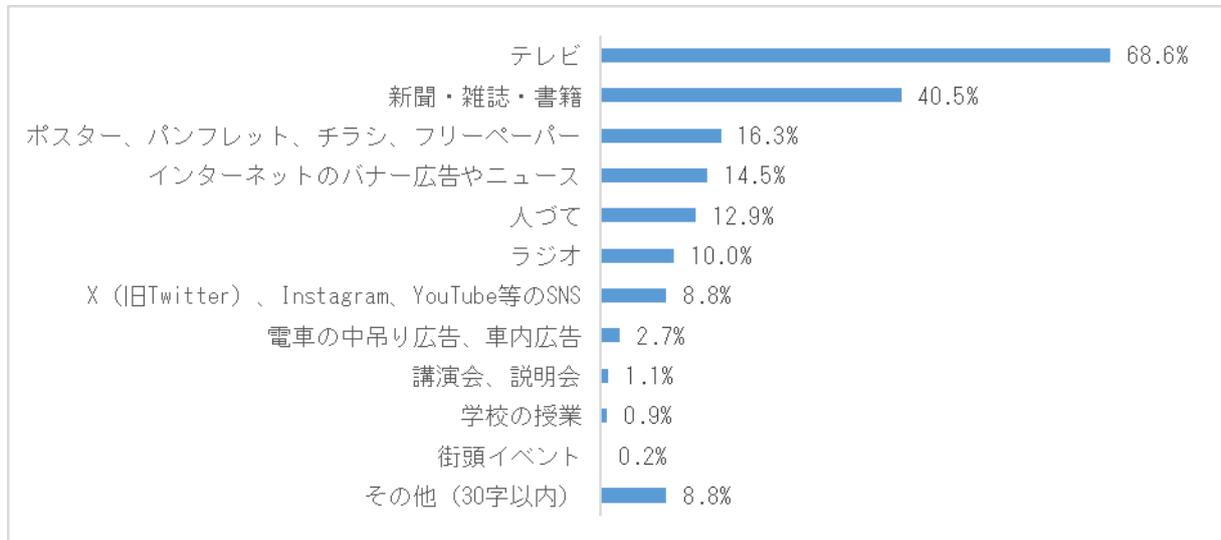
○「法律が変わり、受動喫煙対策が強化されたことを知っていた」と回答した方の割合は40.5%であった。一方で、「知らなかった」と回答した方の割合も同程度（40.9%）であった。

【問2】（受動喫煙対策が強化されたことを知ったきっかけ）

（問1で「知らなかった（今初めて知った）」以外を選択した方へ）

受動喫煙を防ぐ法律が変わったこと、受動喫煙対策が強化されたことをどのように知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(n=442)



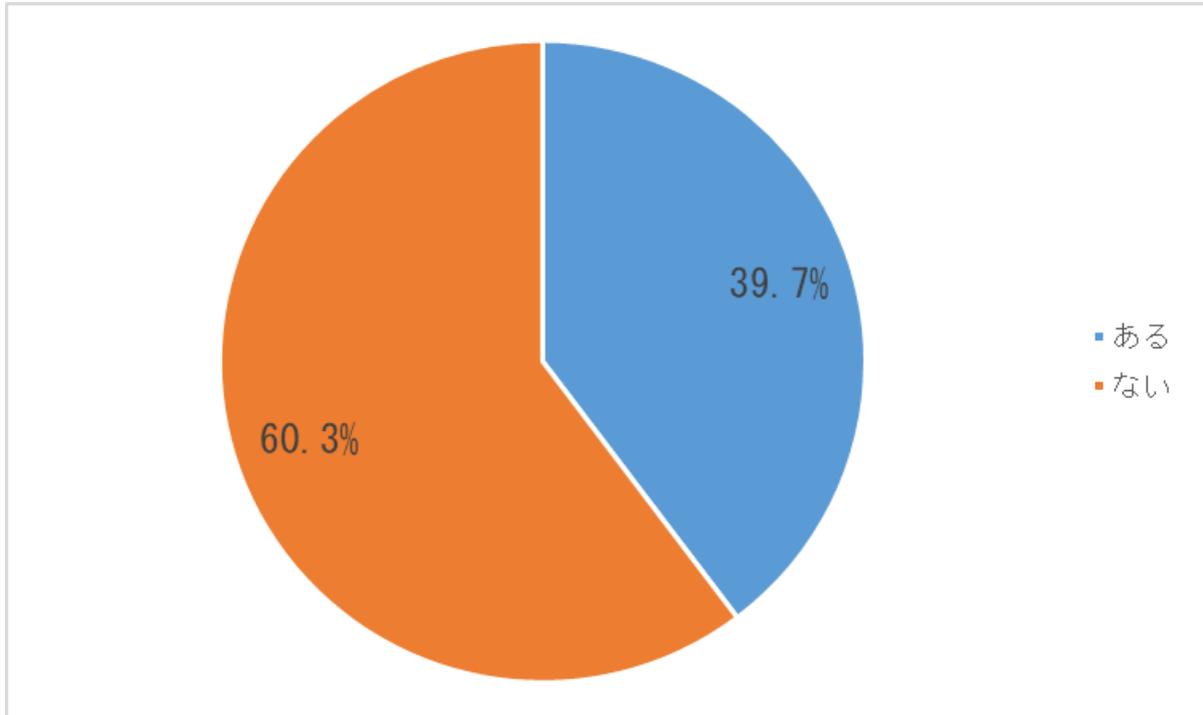
○受動喫煙防止対策強化に関する情報を得た媒体は、「テレビ」が最も高く、次いで「新聞・雑誌・書籍」、「ポスター・パンフレット・チラシ・フリーペーパー」の順に高かった。

○「その他」（8.8%）として、次のような意見が挙げられた（計39件）。

- ・職場での案内
- ・飲食店の張り紙 など

【問3】（喫煙場所における標識の認知度）

受動喫煙を防ぐ法律が変わり、喫煙できる場所に標識を掲示することになりました。あなたは、この標識を飲食店等で見たことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。
(n=748)

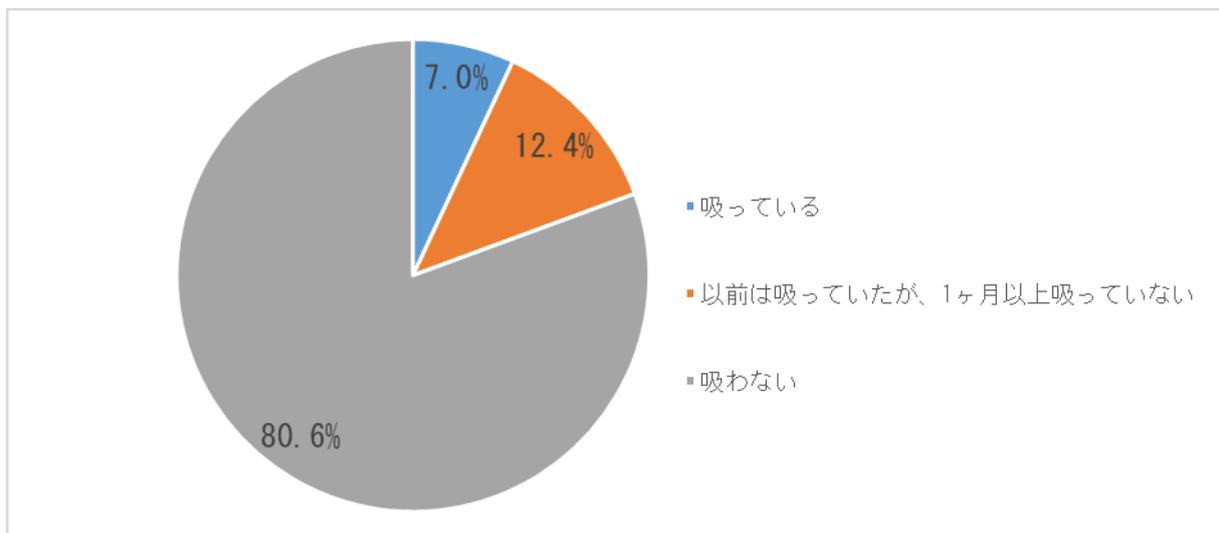


○喫煙できる場所として掲示されている標識を見たことが「ある」と回答した方の割合は39.7%であった。

【問4】（喫煙状況）

あなたは、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=748)

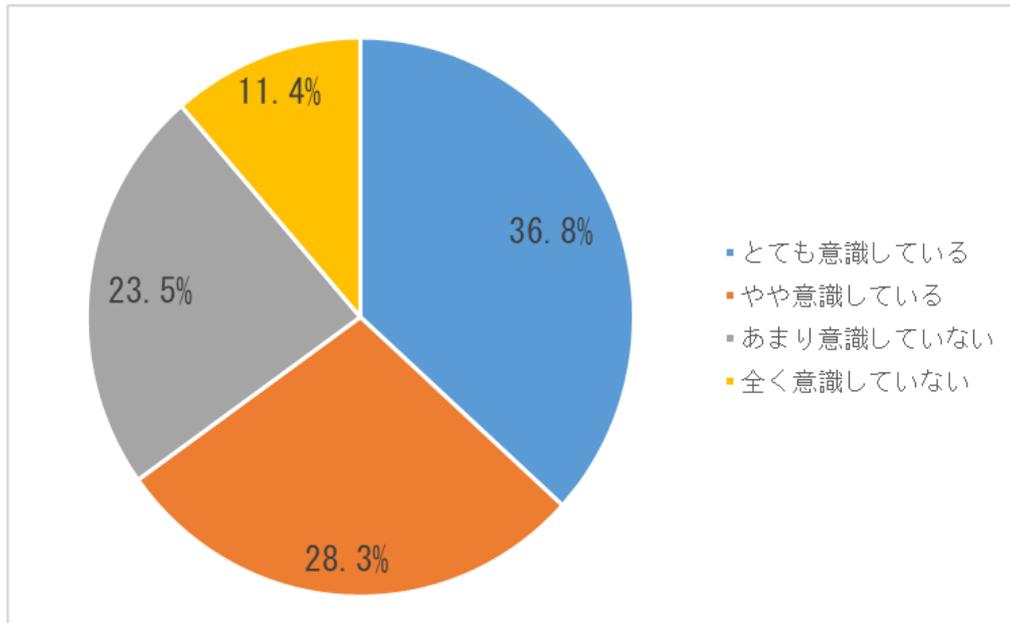


○たばこを「吸っている」と回答した方の割合は7.0%、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」12.4%、「吸わない」80.6%であった。

【問5】（飲食店の受動喫煙防止対策に対する意識）

あなたは、飲食店を選ぶときに、受動喫煙防止対策がとられているかをどのくらい意識していますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=748)

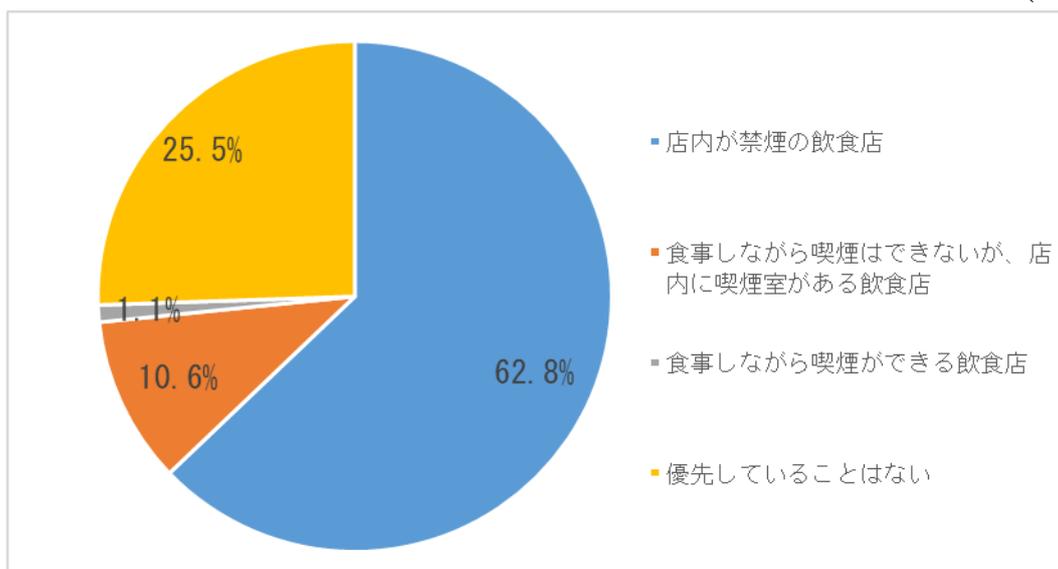


○飲食店を選ぶときに、受動喫煙防止対策を「とても意識している」と回答した方の割合は 36.8% と最も多く、「やや意識している」割合と合わせると 65.1% が意識していた。

【問6】（飲食店の選び方）

あなたは、受動喫煙防止対策の観点で、飲食店を選ぶときに優先していることはありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=748)



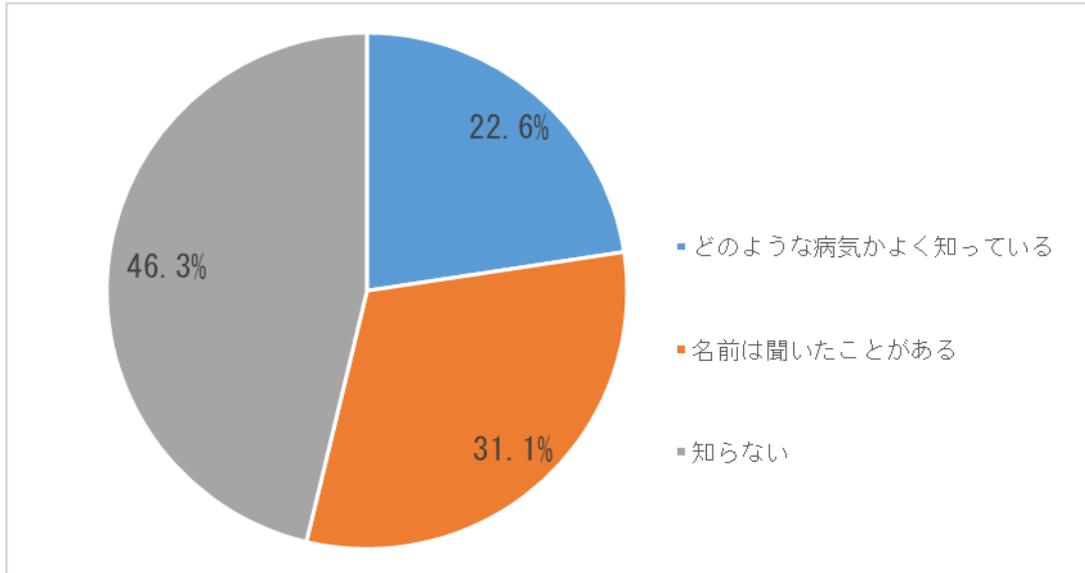
○受動喫煙防止対策の観点で、飲食店を選ぶときに「店内が禁煙の飲食店」を優先していると回答した方の割合は 62.8% で、「食事しながら喫煙できる飲食店」を優先していると回答した方の割合は 1.1% であった。

【問7】(COPDの認知度)

あなたは、慢性閉塞性肺疾患(COPD)(※)という病気を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(※)慢性閉塞性肺疾患(COPD)とは、肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れが主な症状の病気であり、緩やかに呼吸障害が進行する疾患です。

(n=748)



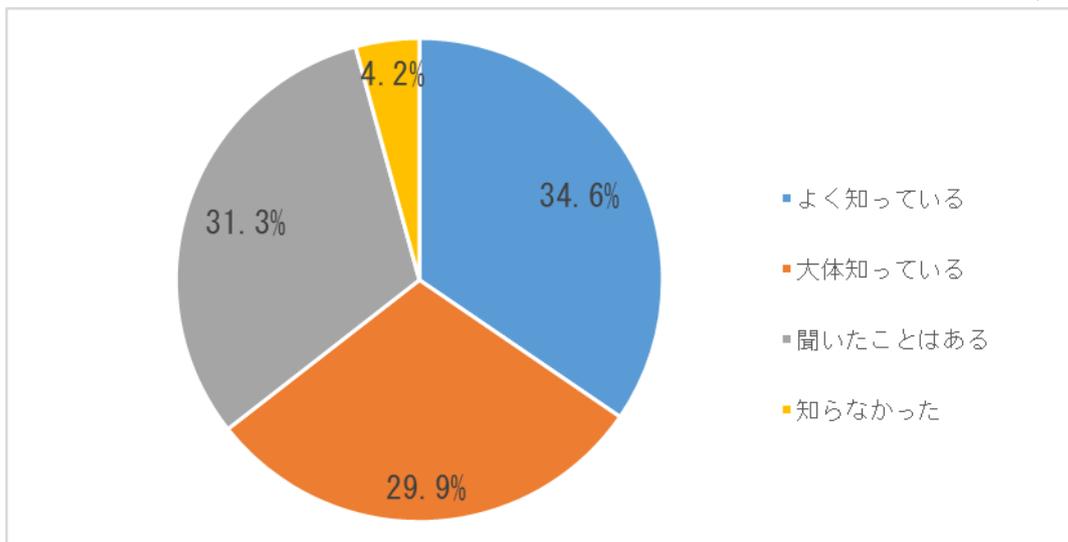
○慢性閉塞性肺疾患(COPD)について、「どのようないびきがよく知っている」と回答した方の割合は22.6%で、「知らない」と回答した方の割合は46.3%であった。

【問8】(COPDの原因の認知度)

(問7で「どのようないびきがよく知っている」、「名前を聞いたことがある」を選択した方へ)

あなたは、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の主な原因が喫煙であることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=402)

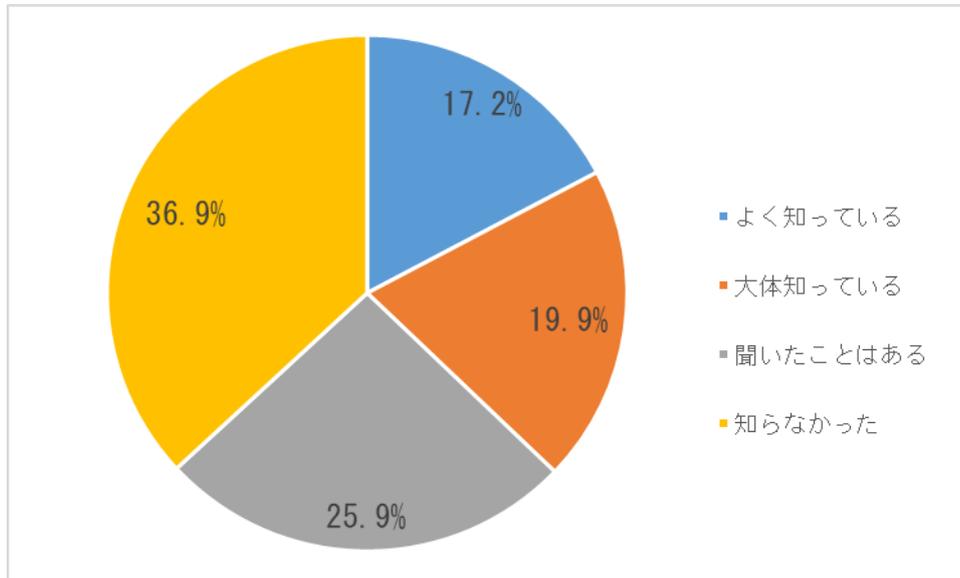


○慢性閉塞性肺疾患(COPD)について「どのようないびきがよく知っている」「名前を聞いたことがある」と回答した方のうち、COPDの原因が喫煙であることを知っている方の割合は「よく知っている」「大体知っている」と回答した方を合わせて64.4%であった。

【問9】（喫煙と歯周病における関連の認知度）

あなたは、喫煙することによって、歯周病にかかりやすく、悪化しやすくなることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=748)



○喫煙が歯周病のリスクを高めることを「よく知っている」「大体知っている」と回答した方を合わせた割合は37.2%で、「知らなかった」と回答した方の割合は36.9%であった。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・受動喫煙を防止する法律が変わり、望まない受動喫煙が生じないよう対策が強化されたことを「知らなかった」と約4割の方が回答したことから、さらなる普及啓発が必要である。
- ・本調査の結果について、受動喫煙防止に係る取組の参考とする。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和5年10月2日（月）～令和5年10月15日（日）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：995名（県内在住者のみ）

回収率：75.2%（748名）

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（%）
全体（n）		748	100.0
地域別	県北	67	9.0
	県央	271	36.2
	鹿行	47	6.3
	県南	292	39.0
	県西	71	9.5
性別	男性	316	42.2
	女性	432	57.8
年齢別	16～19歳	7	0.9
	20～29歳	38	5.1
	30～39歳	117	15.6
	40～49歳	197	26.3
	50～59歳	193	25.8
	60～69歳	121	16.2
	70歳以上	75	10.0
職業別	自営業	58	7.8
	会社員	271	36.2
	団体職員	33	4.4
	公務員	33	4.4
	主婦・主夫	165	22.1
	学生	17	2.3
	無職	81	10.8
	その他	90	12.0

(2) 担当課

茨城県保健医療部健康推進課 がん・生活習慣病対策推進室（健康増進グループ）

電話：029-301-3229

E-mail：care3@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。